自民党 斉藤たかおさん

数々の個人質問がマスコミに報道されました！

名古屋市会議員ナンバー１の報道実績

コミュニティセンターへのWi-Fi導入に向けた支援策

個人質問（9月14日）

斉藤 たかお議員（自民）

コミュニティセンターへのWi-Fi導入に向けた支援策

質問 コミュニティセンターにおいて、ICT化の推進や、防災での活用が期待されるWi-Fi導入を支援しては。

答弁 Wi-Fiの導入は、地域活動のICT化の推進や利用者の増加に資すると考えられ、できる限り速やかに経費も含めた必要な支援をしたい。（スポーツ市民局長）

◀広報なごや183号

（第3種郵便物認可）

地域活動に市Wｉ－Ｆｉ

来年度 コミセンへ整備検討

市のＩＣＴ活用モデル事業で、オンライン会議を試す住民ら＝北区の東志賀コミュニティセンターで

市は来年度、小学校の各ＩＣＴ（コミセン）での無線ＬＡＮ（Ｗｉ－Ｆｉ）（ワイファイ）の整備を検討している。コミュニティセンター「ライン」の整備を後押しする。

市は、オンライン会議の導入などＩＣＴを促すことで、新型コロナウイルス禍での活動の維持や、現役世代が関わりやすい態勢づくりになるとみている。

小学校区ごとに設けられているコミセンは、学区の住民が会合やサロンとして使っている。現状ではＷｉ－Ｆｉの整備は学校の利用に表られ、設置費や利用料は市からの指定管理費で負担している。コミセンのＷｉ－Ｆｉ整備は昨年度末で48％にとどまっており、市は公費負担で導入を促進したい考えだ。

市はコロナ禍の昨年度、オンライン会議の開催や電子申請などの実用化などを後押しするため、十四学区を対象に情報通信技術（ＩＣＴ）活用モデル事業を実施。本年度はスマートフォンを教室やホームページの作成に活用するなどに力を入れている。今後、こうした事業を地域活動のＩＣＴ化をサポートしていく。コミセンのＷｉ－Ｆｉ整備については、十四日の市議会定例会の個人質問で斉藤高央議員（自民）が、学区のＩＣＴ活用を推進し、若者など新たな利用者の呼び込みにつながるよう要望した。

答弁が、学区のＩＣＴ活用を推進し、若者など新たな利用者の呼び込みにつながるよう要望した。市は、ＩＣＴ整備についてはＬＡＮ（ラン）整備に向けて、コミセンごとの状況を調査するなど、必要な支援をしていくと答弁していた。（鈴木豊明）

◀中日新聞

名古屋市消防学校と愛知県消防学校の共同設置

個人質問（6月22日）

県と名古屋市共同 消防学校を設置へ

豊山に26年度

名古屋市は二十二日、四年後の二〇二六年度に、県と共同の消防学校を豊山町に設置する方針を正式に明らかにした。二十二日の市議会六月定例会で、斉藤高央市議（自民）の質問に小出豊明消防長が答えた。現在、県消防学校は尾張旭市、名古屋市消防学校は約一㌔離れた守山区に立地している。

小出消防長は答弁で「県内消防本部と連携強化を図ることができ、本市を含む県内全域にとって非常に効果的」と説明。「広い敷地を活用し、南海トラフ地震の発生に備えた大規模な震災訓練場などを設置できる」と述べた。

市消防学校では市内の消防職員や消防団員、県消防学校では名古屋以外の市町村の消防職員らが、訓練を受けている。

県は二〇年度に豊山町の県営名古屋空港近くに消防学校を移転する検討を開始。市はこれに合わせて現市消防学校を移転し、県側と共同設置する可能性を協議していた。（白石正和）

◀中日新聞

斉藤 たかお議員（自民）

名古屋市消防学校と愛知県消防学校の共同設置

質問 大規模災害対応能力の向上を図るため、愛知県と消防学校の共同設置に向けて検討すべきでは。

答弁 本市にとっても教育訓練の質が向上し、人命救助や市民の財産の保護に資するため、県と連携を図り、令和8年度からの共同設置に向け取り組む。（消防長）

▲広報なごや182号

リニア開業に向けた名古屋駅周辺まちづくり

個人質問（6月25日）

リニアを機に脱・迷駅 東口駅前広場 面積2倍に

市議会六月定例会は二十五日、本会議を再開し、八議員が個人質問した。リニア中央新幹線開業に向けた名古屋駅周辺の再整備で市は、東口駅前広場を広げる具体案を示した。面積を現在の約二倍とし人の流れをスムーズにし、「迷駅」とやゆされる乗り換えの分かりにくさを改善する。新たに観光案内施設や交番も置く。斉藤高央議員（自民）の質問に答えた。（竹田佳彦、池内琢）

市議会 個人質問

名駅東口駅前広場の拡張は、昨年一月の市都市計画審議会で認められている。駅前ロータリーを丫字形の三差路につくりかえ、移転するモニュメント「飛翔」がある付近まで広場が大きく張り出す。

市側がこの日示した具体案によると、面積は現在の六千五百平方㍍から二万四千五百平方㍍から一万四千平方㍍に拡張。名鉄の名駅再開発計画と連動し、ＪＲや市営地下鉄、地下街のアクセス向上を図る。二〇二七年の完成を目指す。

西口広場はリニア開業に合わせて段階的に整備する。開業前はタクシー乗り場の配置など地上レベルの再開発を進め、開業後は上部空間や地下の整備も進める。駅南側の東西を結ぶ新たな通路や、名古屋高速から地下で接続する路線も設ける計画で、事業費はそれぞれ数百億円になる見込み。

市は財源として、国の国際競争拠点都市整備事業による補助金や県費の拡充、市の基金の活用を見込む。

藤條聡・住宅都市局長は「地域の力を結集して推進していきたい」と答弁した。

地下鉄東山線の中改札や地下街につながる入り口を設け、ＪＲ名古屋駅から円滑な移動が可能になる。地上部では、駅東側の大名古屋ビルヂングやミッドランドスクエア方面への移動もやすくなる。観光案内施設も新設する方針。

名駅南東部にあたる広場南側は、現在の「タワーズガーデン」をなくして平らにすることで、名鉄から北側への見通しや移動を改善。名古屋駅交番は、広場中央部につくる観光案内施設付近に移転する。

斉藤高央議員は「完成後は明るく広々とした駅前広場になり、乗り換え時によろめくなく人が流れることを期待したい」と述べ、会員制交流サイト（ＳＮＳ）などを活用して事業の全体像を積極的に市民へ公開するよう求めた。

市住宅都市局の藤條聡局長は「駅前広場は多くの人を迎え、街の起点となる重要な結節点」と強調。整備後が想像しやすい図面を年度内に作る考えを示した。

◀中日新聞

名駅周辺再整備 2000億円

リニア開業向け、市見通し

リニア中央新幹線開業に向けて名古屋駅周辺の再整備を進める名古屋市は二十五日、総事業費が二千億円程度になるとの見通しを示した。開会中の市議会六月定例会で、斉藤高央議員（自民）の質問に答えた。

市によると再整備では、約七百億円かけて東口駅前広場を拡充する。駅前の道路をＹ字形の三差路にして、歩行者空間を現在の六千五百平方㍍から一万四千平方㍍に拡張。名鉄の名駅再開発計画と連動し、ＪＲや市営地下鉄、地下街のアクセス向上を図る。二〇二七年の完成を目指す。

西口広場はリニア開業に合わせて段階的に整備する。開業前はタクシー乗り場の配置など地上レベルの再開発を進め、開業後は上部空間や地下の整備も進める。駅南側の東西を結ぶ新たな通路や、名古屋高速から地下で接続する路線も設ける計画で、事業費はそれぞれ数百億円になる見込み。

市は財源として、国の国際競争拠点都市整備事業による補助金や県費の拡充、市の基金の活用を見込む。

藤條聡・住宅都市局長は「地域の力を結集して推進していきたい」と答弁した。

▲中日新聞

名駅再開発に2000億円

リニア開業整備で名古屋市

リニア中央新幹線開業に向けて名古屋駅周辺の再整備を進める名古屋市は二十五日、総事業費が二千億円程度になるとの見通しを示した。開会中の市議会六月定例会で、斉藤高央議員（自民）の質問に答えた。

市によると再整備では、約七百億円かけて東口駅前広場を拡充する。駅前の道路をＹ字形の三差路にして、歩行者空間を現在の六千五百平方㍍から一万四千平方㍍に拡張。名鉄の名駅再開発計画と連動し、ＪＲや市営地下鉄、地下街のアクセス向上を図る。二〇二七年の完成を目指す。

西口広場はリニア開業に合わせて段階的に整備する。開業前はタクシー乗り場の配置など地上レベルの再開発を進め、開業後は上部空間や地下の整備も進める。駅南側の東西を結ぶ新たな通路や、名古屋高速から地下で接続する路線も設ける計画で、事業費はそれぞれ数百億円になる見込み。

市は財源として、国の国際競争拠点都市整備事業による補助金や県費の拡充、市の基金の活用を見込む。

藤條聡・住宅都市局長は「地域の力を結集して推進していきたい」と答弁した。

▲中日新聞

斉藤 たかお議員（自民）

リニア開業に向けた名古屋駅周辺まちづくり

質問 名古屋駅周辺まちづくりに係る事業費と、その財源確保に対する考えは。

答弁 全体として2千億円の事業費を目安としており、国、県との協力はもとより、基金の活用など様々な方策を図って財源確保に努めたい。（住宅都市局長）

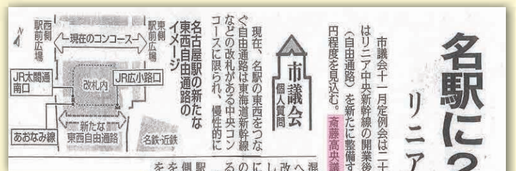
広報なごや177号▶

名古屋駅における新たなコンコースの検討状況

個人質問（11月28日）

名駅に2本目自由通路

リニア開業後、市整備方針



名古屋駅の新たな東西自由通路のイメージ

市議会 個人質問

市議会十一月定例会は二十八日、本会議を再開し、八議員が個人質問した。市はリニア中央新幹線の開業後、名古屋駅の東側と西側を結ぶ二本目のコンコース（自由通路）を新たに整備する方針を示した。事業費は三百五十億～三百五十億円程度を見込む。斉藤高央議員（自民）の質問に答えた。

現在、名古屋駅の東西を貫く自由通路は太閤通口と桜通口の間の中央コンコースしかない。西のあおなみ線と東の名鉄や近鉄との乗り換えを円滑にする狙いがあり、完成はリニア中央新幹線の開業後になる見込み。新通路は、ＪＲ太閤通南口付近とＪＲ広小路口付近をつなぐもので長さは約85㍍になる。

28日の市議会本会議で斉藤高央市議（自民）の質問に答えた。（山下寛久）

▲朝日新聞

新東西通路のイメージ図＝名古屋市提供

名古屋駅に新東西通路設置へ

市・JR、リニア開業後に完成見通し

名古屋市は28日、ＪＲ東海と検討を進めるＪＲ名古屋駅の新たな東西通路について、通路幅は約９㍍、事業費が250億～350億円程度になる見通しを明らかにした。

現在、名古屋駅の東西を貫く自由通路は太閤通口と桜通口の間の中央コンコースしかない。西のあおなみ線と東の名鉄や近鉄との乗り換えを円滑にする狙いがあり、完成はリニア中央新幹線の開業後になる見込み。新通路は、ＪＲ太閤通南口付近とＪＲ広小路口付近をつなぐもので長さは約85㍍になる。

28日の市議会本会議で斉藤高央市議（自民）の質問に答えた。（山下寛久）

▲朝日新聞

斉藤 たかお議員（自民）

名古屋駅における新たなコンコースの検討状況

質問 名古屋駅の東西を結ぶ新たな通路についてコンコースとすべきと考えるが、事業規模等その検討状況は。

答弁 通路幅は地表レベルで約9mとし、にぎわいを創出するためのスペースの併設も検討しており、事業費は250～350億円程度を想定している。（住宅都市局長）

▲広報なごや184号

新型コロナワクチンの接種体制

代表質問（3月4日）

斉藤 たかお議員（自民）

新型コロナワクチンの接種体制

質問 現時点での本市のワクチン接種スケジュールは。また、ワクチン接種に当たり、身近な病院やかかりつけ医での個別接種を中心とした体制を構築する考えは。

答弁 高齢者の優先接種は5月から3カ月程度で進め、高齢者以外への接種は7月中には開始し、年内を目途に完了できるよう取り組んでいく。また、個別接種については、市医師会と協議を重ね、接種可能な医療機関を大幅に増やせるよう検討を進めていく。（健康福祉局長）

<その他の質問項目>

コロナ禍における財政運営、新型コロナ対策の全庁体制のさらなる構築、新型コロナに対する救急体制の整備など

▲広報なごや175号

優先接種 来月14日から

名古屋市、一部の高齢者対象

新型コロナ

名古屋市は4日、一部の高齢者を対象に新型コロナウイルスのワクチンの優先接種を来月14日に始めることを明らかにした。市議会で斉藤高央議員（自民）の代表質問に答えた。

市には約1千人が2回接種を受けられる量が届くことから、これを使う。優先接種の対象者は地域の医師などに決定するが、具体的には来月中旬に発送する。

高齢者への優先接種は7月から本格化する。市によると、対象者は約60万人で約3カ月かけて接種。高齢者以外への接種は並行して7月に始め、年内のうちに全市民に接種したい考え。

接種はかかりつけ医を中心に実施する。市は、ワクチンを零下75度前後で保管する超低温冷凍庫を約130の医療機関に配置し、500カ所程度で接種できるとしている。

集団接種は4～6月、一部の区役所講堂などで、水、木曜は10ヶ所ずつの区役所講堂で実施し、市全体では最大40カ所程度とする。7月以降は区役所講堂などで土、日曜に実施する予定という。

▲朝日新聞

高齢者接種 来月14日から

名古屋市方針 市民全体は年内完了

新型コロナ

名古屋市は4日、新型コロナウイルスのワクチン接種を、高齢者を対象に4月14日から開始する方針を市議会本会議で示した。本格的な接種は5月から開始する。それ以外の市民については、7月中の開始を目指すとした。斉藤高央市議（自民）の質問に答えた。

ワクチンは県から配布される約1000人分。市によると、高齢者は約60万人に上るという。ワクチンの配布が増えると想定される6月以降、3か月程度で接種を完了する見通しだ。市民全体では年内の完了が目標。

このほか、接種会場については、病院やかかりつけ医での個別接種と、区役所や学校体育館での集団接種を併用。約500カ所の医療機関で接種を行うようにするとしている。

◀読売新聞

柳橋新駅の設置に向けた考え

個人質問（3月8日）

斉藤 たかお議員（自民）

柳橋新駅の設置に向けた考え

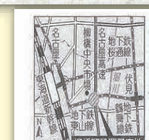
質問 名駅の混雑の解消を図る上でも新駅の設置は必要不可欠と言えるが、柳橋駅設置に向けた考えは。

答弁 名駅エリア全体の中で新駅の役割について検討を進める。国家的プロジェクトとして取り上げてもらえたら、速やかに着工したい。（河村市長、住宅都市局長）

▲広報なごや180号

地下鉄柳橋駅の新設構想

市「役割検討進める」



市営地下鉄東山線の名古屋駅と栄駅間に想定されている柳橋駅（中村区）の設置構想について、河村たかし市長は設置の検討を続けていく。

斉藤高央議員は、リニア中央新幹線の開業を控え、柳橋駅は名古屋駅エリアの一部と指摘。利用者の多い名古屋駅の混雑解消に向けても「柳橋駅は必要不可欠だ」と提案した。

これに対し、藤條聡・住宅都市局長は「名古屋駅エリア全体における新駅の役割について検討を進めていきたい」と答弁。また、河村市長は「広い視点で駅設置につながれば、可及的速やかに設置の判断をしたい」と述べた。

柳橋駅建設は、一九五四年の東山線名古屋―栄町（現・栄）間の着工前に検討されたが、需要が見込めないとして設置を見送られた。

しかし、市は二〇一四年の市議会で、リニア開業を視野に駅設置に前向きな姿勢を表明。その後、市は駅のレイアウトや工法を検討し、「物理的に設置は可能」と説明している。

村市長は「広い視点で駅設置につながれば、可及的速やかに設置の判断をしたい」と述べた。

柳橋駅建設は、一九五四年の東山線名古屋―栄町（現・栄）間の着工前に検討されたが、需要が見込めないとして設置を見送られた。

しかし、市は二〇一四年の市議会で、リニア開業を視野に駅設置に前向きな姿勢を表明。その後、市は駅のレイアウトや工法を検討し、「物理的に設置は可能」と説明している。

◀中日新聞